



GJ-EN6700HWI シリーズ ネットワーク 音声/映像エンコーダ

クイック オペレーション ガイド

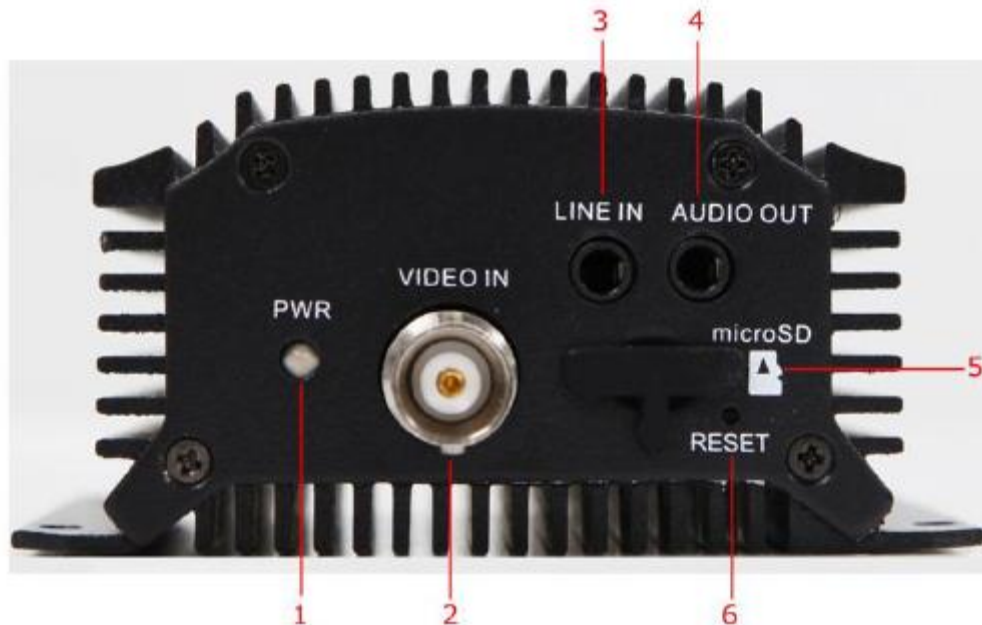
UD.6L0202B1455A01

内容

フロントパネル	3
リアパネル	5
ネットワークパラメータの設定	7
クライアントソフトウェアによる GJ-EN6700 へのアクセス	10
Web ブラウザによる GJ-EN6700 へのアクセス	13

フロントパネル

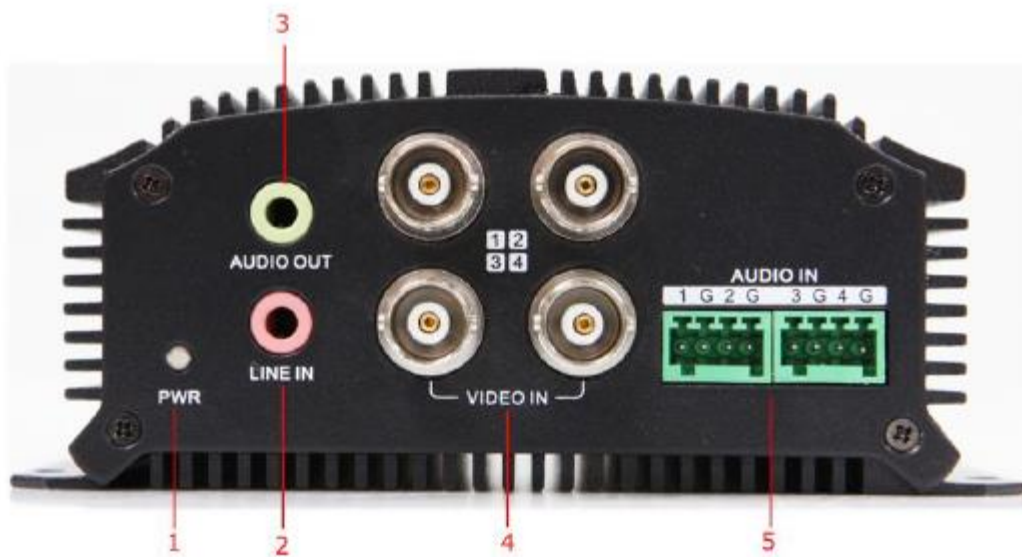
GJ-EN6701HWI:



フロントパネルの説明:

	項目	説明
1	電源 LED インジケータ	デバイスの電源が入っていると赤色に点灯します。SD カードを挿入するとオレンジ色に点灯します。
2	ビデオ入力	ビデオ入力用の BNC コネクタ。
3	ラインイン	双方向音声入力または音声入力用の 3.5mm インターフェイス。音声入力デバイスまたはアクティブピックアップ、マイクなどに接続します。
4	音声出力	3.5mm インターフェイス。ラウドスピーカなどの音声出力デバイスに接続します。
5	マイクロ SD	データストレージ用の microSD インターフェイス。
6	リセット	電源を入れた後、リセットボタンを 15 秒以上押し続けると工場出荷時の設定に戻ります。

GJ-EN6704HWI:

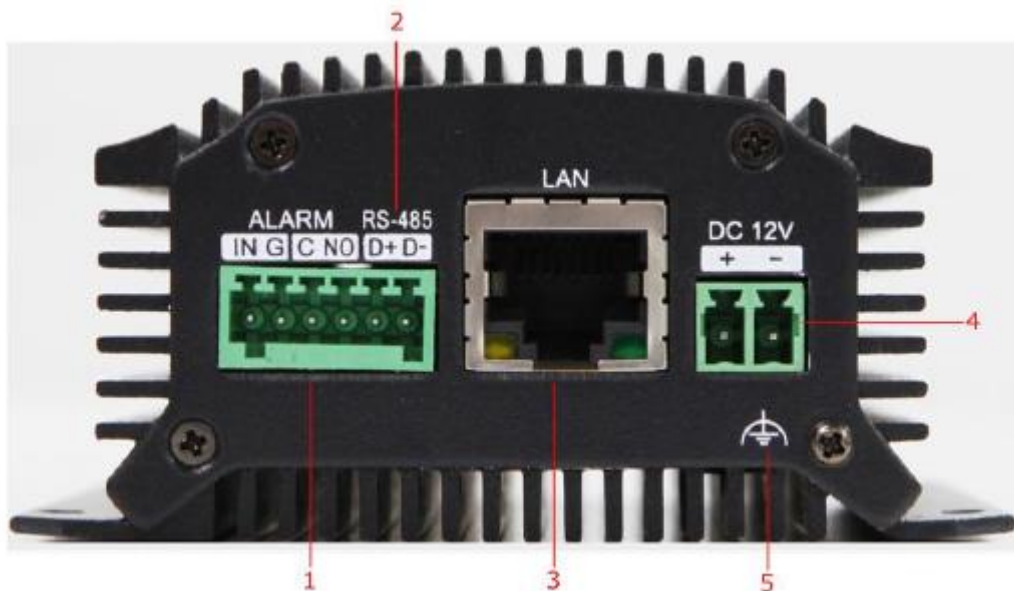


フロントパネルの説明:

項目	説明
1 電源 LED インジケータ	デバイスの電源が入っていると赤色に点灯します。SD カードを挿入するとオレンジ色に点灯します。
2 ラインイン	3.5mm 双方向音声入力インターフェイス;アクティブなピックアップ、マイクなどに接続します。
3 音声出力	3.5mm インターフェイス。ラウドスピーカなどの音声出力デバイスに接続します
4 ビデオ入力	ビデオ入力用の BNC インターフェイス。
5 音声入力	音声入力用のライン入力インターフェイス。

リアパネル

GJ-EN6701HWI:

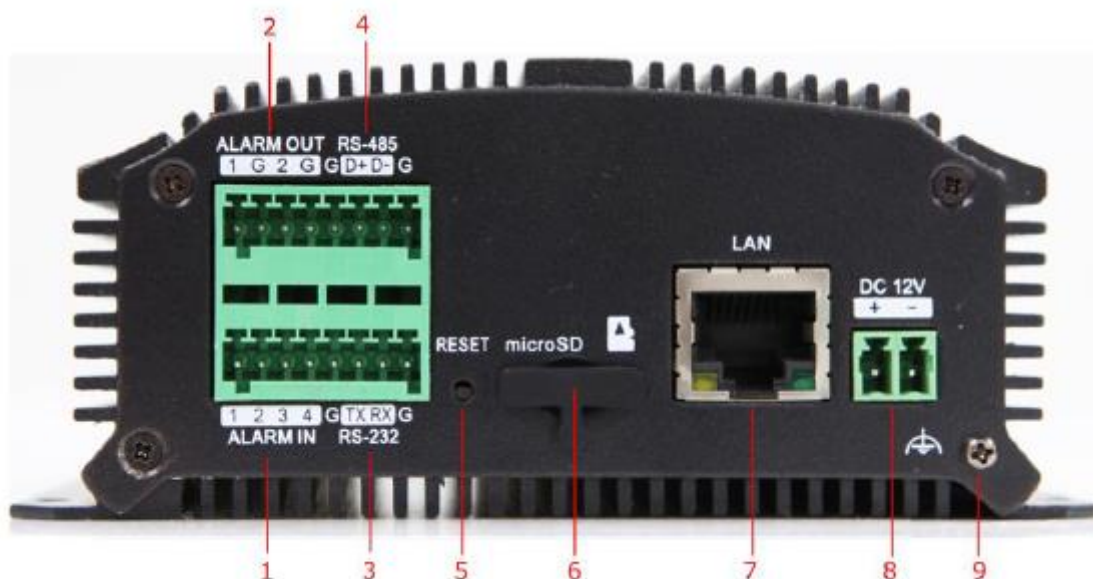


リアパネルの説明:

項目	説明
1	アラーム入力/出力 リレーアラームの入力/出力。 注意: アラーム出力端子には JP2 ピンはありません。
2	RS-485 RS-485 シリアルインターフェイス。パン/チルトユニット、スピードームなどに接続します。
3	LAN 10M / 100Mbps 適応イーサネットインターフェイス (PoE)。ネットワークケーブルが接続されているときは、右の LED インジケータが緑色に点灯し、データの送受信中は左の LED インジケータがオレンジ色で点滅します。
4	DC12V 12V DC 電源。
5	GND 接地。

注意: GJ-EN6701HWI モデルはビープ音を発生しません。

GJ-EN6704HWI:



リアパネルの説明:

項目	説明
1	アラーム入力 リレーアラームの入力。
2	アラーム出力 リレーアラームの出力。
3	RS-232 デバイスのパラメータを設定するためのシリアルインターフェイス、またはトランスペアレントチャネルとして使用されます。
4	RS-485 RS-485 シリアルインターフェイス。パン/チルトユニット、スピードドームなどに接続します。
5	リセット デバイスの電源を入れた後、リセットボタンを 15 秒以上押し続けると、出荷時のデフォルト設定に戻ります。
6	マイクロ SD データストレージ用の microSD インターフェイス。
7	LAN 10M / 100Mbps 適応イーサネットインターフェイス (PoE)。ネットワークケーブルが接続されているときは、右の LED インジケータが緑色に点灯し、データの送受信中は左の LED インジケータがオレンジ色で点滅します。
8	DC12V 12V DC 電源。
9	GND 接地。

注意: GJ-EN6704HWI モデルはビーブ音を発生しません。

ネットワークパラメータの設定

目的:

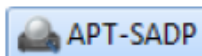
デコーダの IP アドレスがわからず、デコーダを初めて使用するのではない場合は、SADP (IP finder) ソフトウェアまたはシリアルポートツールを使用して、デコーダの IP アドレスを調べ、IP アドレスやその他のネットワークパラメータを設定することができます。初めて使用する場合は、デフォルトの IP アドレスを変更することをお勧めします。

この章では、SADP ソフトウェアを使用してデバイスの IP アドレスやその他のパラメータを見つけて設定する手順を説明します。

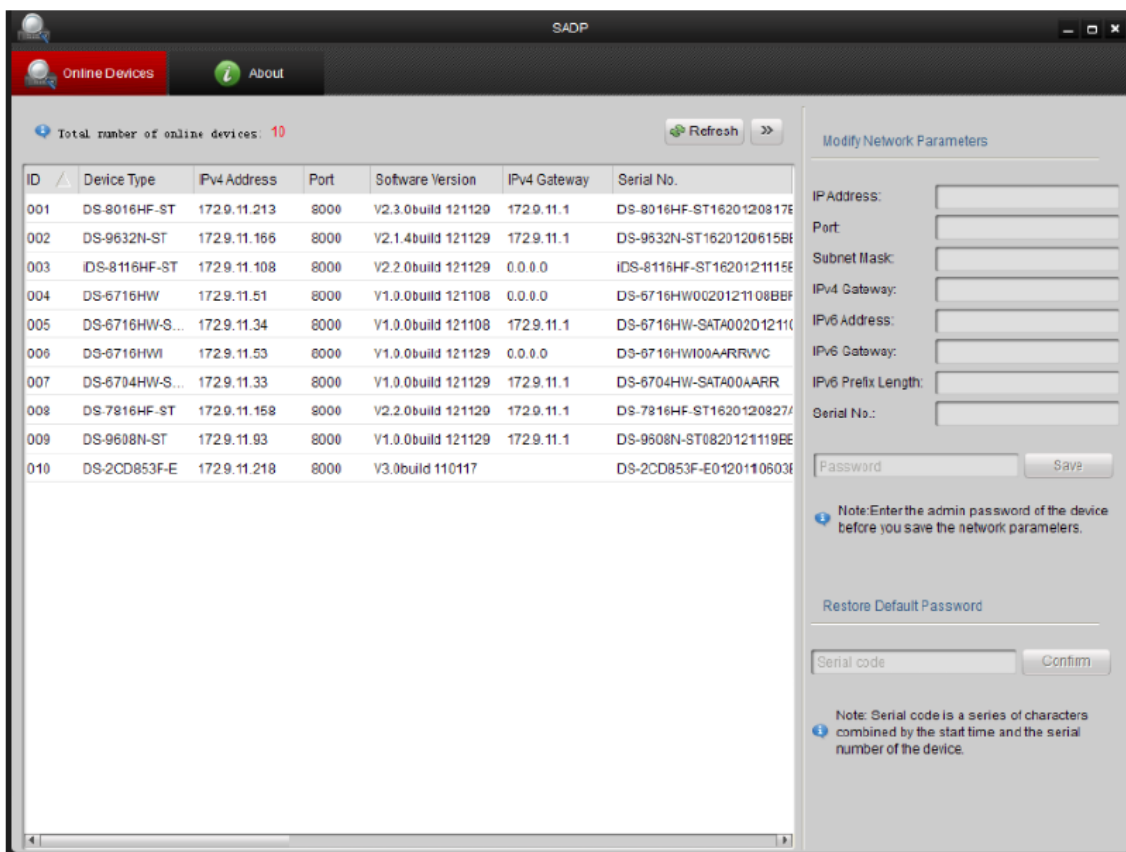
初めてのユーザの場合、GJ-EN6700 のデフォルトユーザ名は admin、初期パスワードを入力してください。初期パスワードが不明な場合は、サポートへお問い合わせください。デフォルトの IP アドレスは 192.0.0.64 です。

オンラインデバイスの検索

- オンラインデバイスの自動検索

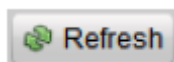


をクリックすると、SADP ソフトウェアが実行され、コンピュータが配置されているサブネットから 15 秒ごとにオンラインデバイスが自動的に検索されます。オンラインデバイスインターフェースに検索されたデバイスの総数と情報が表示されます。デバイスのタイプ、IP アドレス、ポート番号、ゲートウェイなどのデバイス情報が表示されます。







注意: デバイスは、オンラインになってから 15 秒以内に検索して一覧に表示できます。オフラインになってから 45 秒後にリストから削除されます。

● オンラインデバイスの手動検索



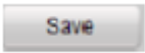
をクリックしてオンラインデバイスリストを手動で更新することもできます。新しく検索されたデバイスがリストに追加されます。

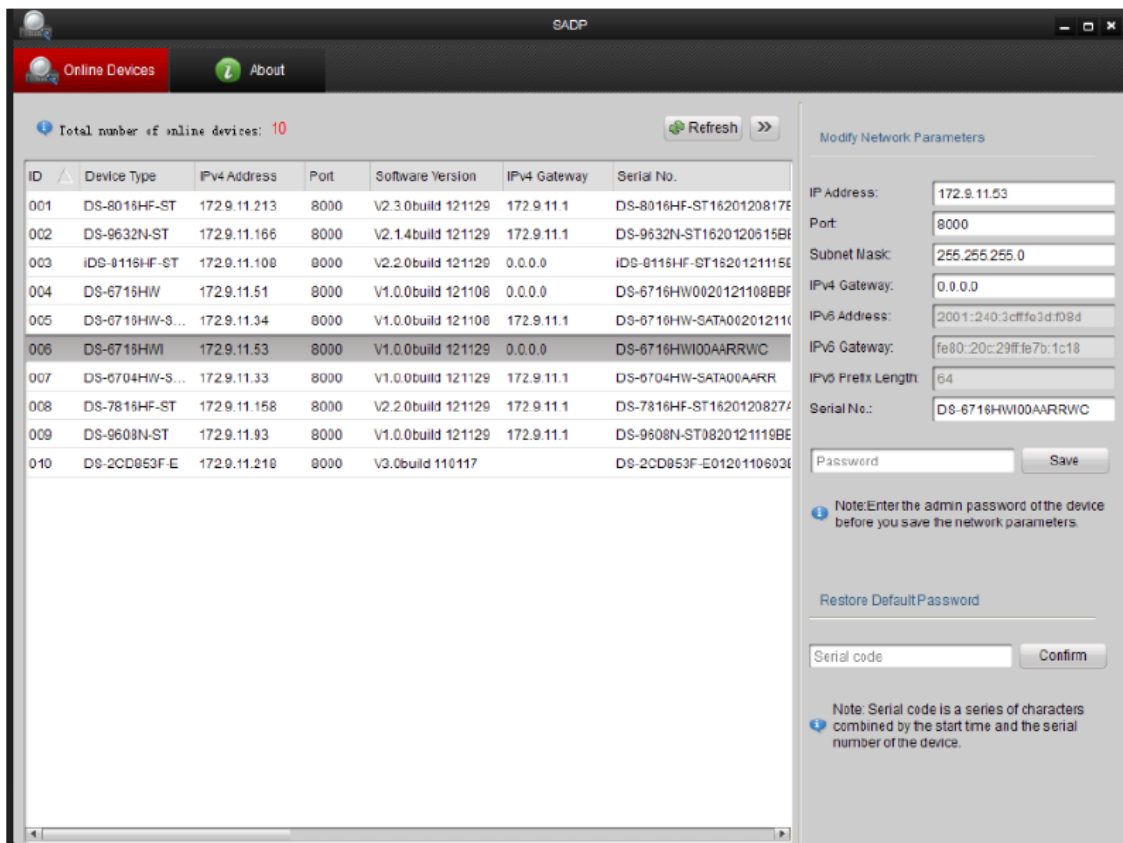
注意: 各列見出しの  または  をクリックすると情報を並べ替えることができます。  をクリックしてデバイステーブルを展開し、右側のネットワークパラメータパネルを非表示にして、または  をクリックしてネットワークパラメータパネルを表示します。

ネットワークパラメータの変更

手順:

1. デバイスリストで変更するデバイスを選択すると、デバイスのネットワークパラメータが右側のネットワークパラメータの変更パネルに表示されます。

- 変更可能なネットワークパラメータ(IP アドレス、ポート番号、ゲートウェイなど)を編集します。
- パスワードフィールドにデバイスの管理者アカウントのパスワードを入力し、 をクリックして変更を保存します。



The screenshot shows the SADP web interface. On the left, there is a table of online devices. On the right, the 'Modify Network Parameters' panel is open for device 006. The panel includes fields for IP Address, Port, Subnet Mask, IPv4 Gateway, IPv6 Address, IPv6 Gateway, IPv6 Prefix Length, and Serial No., along with a Password field and a Save button. A note indicates that the admin password must be entered before saving. Below the network parameters, there is a 'Restore Default Password' section with a Serial code field and a Confirm button. A note explains that the serial code is a combination of the start time and the serial number of the device.

ID	Device Type	IPv4 Address	Port	Software Version	IPv4 Gateway	Serial No.
001	DS-8016HF-ST	172.9.11.213	8000	V2.3.0build 121129	172.9.11.1	DS-8016HF-ST1620120817E
002	DS-9632N-ST	172.9.11.166	8000	V2.1.4build 121129	172.9.11.1	DS-9632N-ST1620120915BF
003	IDS-8116HF-ST	172.9.11.108	8000	V2.2.0build 121129	0.0.0.0	IDS-8116HF-ST1620121115E
004	DS-6716HW	172.9.11.51	8000	V1.0.0build 121108	0.0.0.0	DS-6716HW0020121108BBF
005	DS-6716HW-S...	172.9.11.34	8000	V1.0.0build 121108	172.9.11.1	DS-6716HW-SATA002012111
006	DS-6716HWI	172.9.11.53	8000	V1.0.0build 121129	0.0.0.0	DS-6716HWI00AARRWC
007	DS-6704HW-S...	172.9.11.33	8000	V1.0.0build 121129	172.9.11.1	DS-6704HW-SATA00AARR
008	DS-7816HF-ST	172.9.11.158	8000	V2.2.0build 121129	172.9.11.1	DS-7816HF-ST1620120827A
009	DS-9608N-ST	172.9.11.93	8000	V1.0.0build 121129	172.9.11.1	DS-9608N-ST0820121119BE
010	DS-2CD063F-E	172.9.11.218	8000	V3.0build 110117		DS-2CD063F-E0126110603E

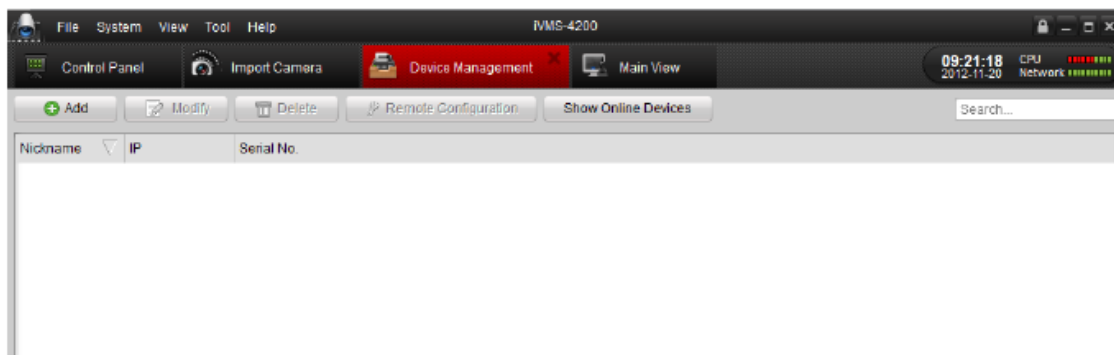
クライアントソフトウェアによる GJ-EN6700 へのアクセス

スタート>すべてのプログラム>iVMS-4200 クライアントをクリックしてクライアントソフトウェアを起動します。ログインに成功すると、クライアントソフトウェアの以下のメインインターフェースに入ることができます。

デバイスの追加

手順:

1. コントロールパネル>デバイス管理をクリックして、「デバイス管理」ページを表示します。



2. 追加ボタンをクリックして、「デバイスの追加」インターフェイスに入ります:

A screenshot of the 'Add Device' dialog box. It has a title bar with 'Add Device' and a close button. The dialog contains the following fields and options:

- Private Domain Mode
- Nickname: Encoder
- Address: 172.6.23.67
- Port: 8000
- User Name: (empty)
- Password: (empty)
- Export To Group

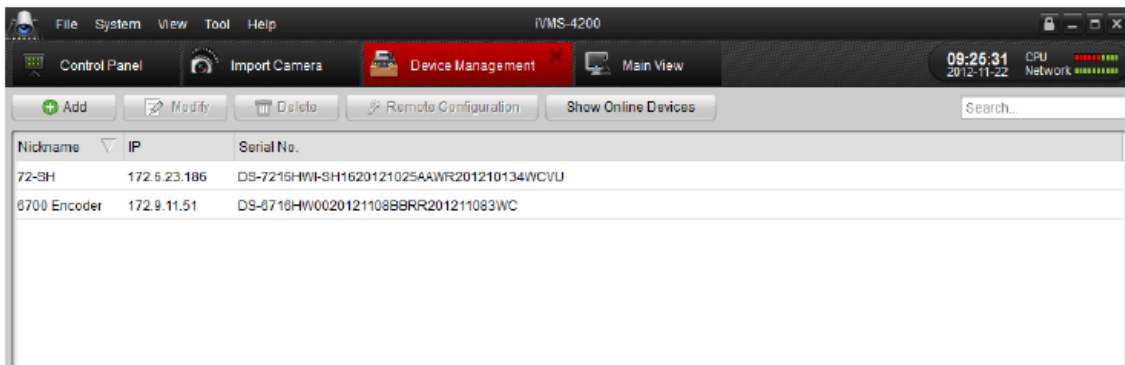
At the bottom, there are three buttons: 'Show Online Devices', 'Add', and 'Cancel'.

3. デバイスのニックネームを編集し、デバイスのIPアドレス、ポート番号(デフォルト:8000)、

ログインユーザー名(デフォルト: admin)、パスワード(初期パスワード)を入力します。

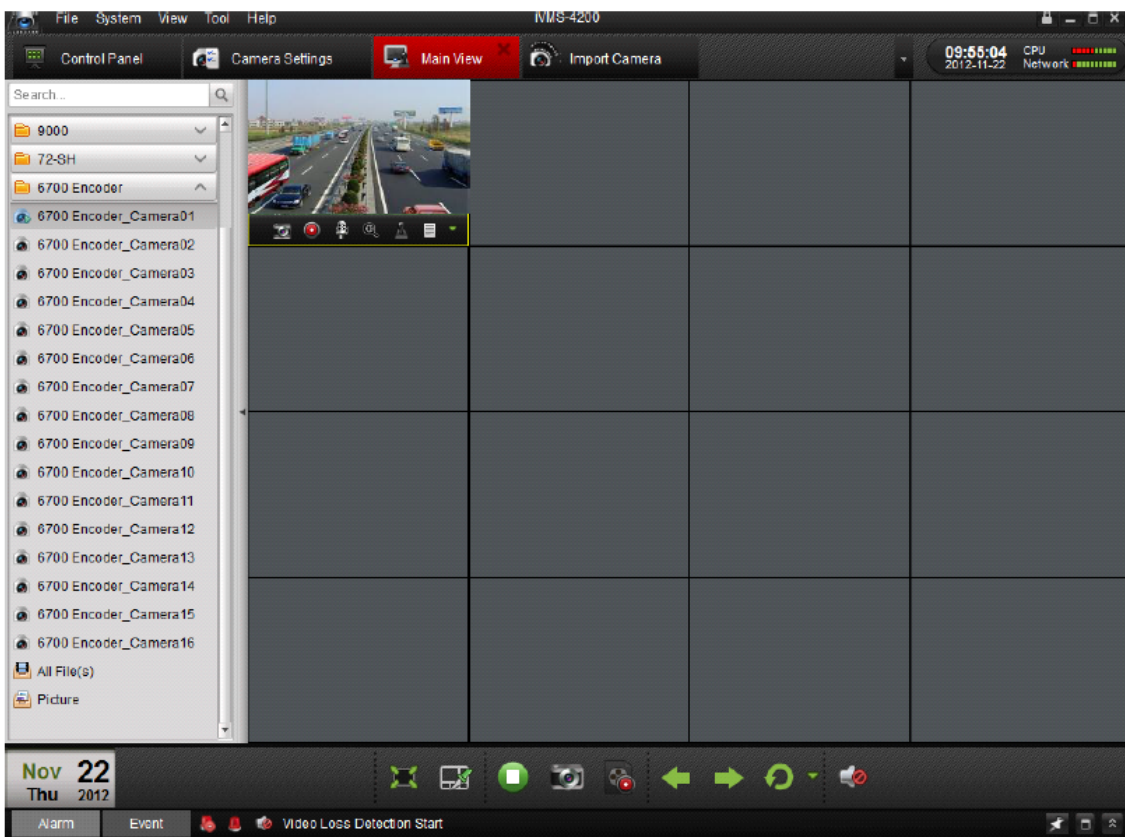
注意:「プライベートドメインモード」チェックボックスをオンにすると、IP サーバーまたは HiDDNS でデバイスを追加できます。

4. 追加をクリックしてデバイスを追加します。
5. 正常に追加されたデバイスがデバイスリストに表示されます。



ライブビューの開始

コントロールパネル>メインビューをクリックして、「ライブビュー」ページに入ります。



ツールバーのボタンをクリックして、ライブビューモードで操作できます。例えば、画像のキャプ

チャ、録画の開始/停止、双方向オーディオ、PTZ 制御(エンコーダに PTZ カメラを接続した状態)、デジタルズーム、オーディオを開閉する、ビデオファイルを再生するなど。

注意: 詳細については、iVMS-4200 クライアントソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

Web ブラウザによる GJ-EN6700 へのアクセス

GJ-EN6700 は WEB ブラウザでも設定と操作が可能です。サポートされている WEB ブラウザには、Internet Explorer 6/7/8/9 以上、Firefox 3.5 以上、Chrome 8 以上、Safari 5.0.2 以上が含まれます。

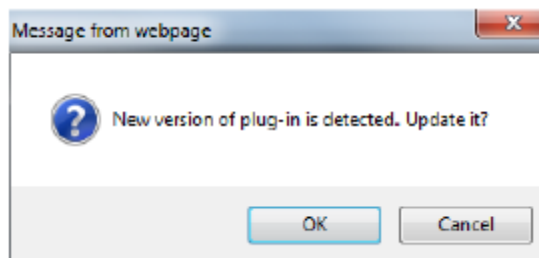
WEB ブラウザを開き、GJ-EN6700 の IP アドレス(例: <http://192.0.0.64>)を入力し、PC の Enter キーを押します。ログインインターフェースが表示されます。

注意: HTTPS 機能が有効になっている場合、IP アドレスを入力すると、システムはデフォルトで HTTPS ログインモード(たとえば、<https://192.0.0.64>)を使用します。HTTP モードを使用してデバイスにログインする場合は、[http:// IP アドレス/ index.asp](http://IPアドレス/index.asp)(例: <http://192.0.0.64/index.asp>)を入力することもできます。



ユーザ名(デフォルト: admin)とパスワード(初期パスワード)を入力してシステムにログインします。


注意: 初めてプラグインをダウンロードしてインストールする必要があります。












ライブビューの開始

1. ライブビューウィンドウで、マウスをクリックして再生ウィンドウを選択します。
2. デバイスリストからカメラをダブルクリックして、ライブビューを開始します。



3. ツールバーの  ボタンをクリックすると、デバイスリストのすべてのカメラのライブビューを開始できます。

ライブビューウィンドウのボタンの説明については、次の表を参照してください。

アイコン	説明
	ウィンドウ分割モードを選択する。
	ライブビューの開始/停止。
	ライブビューモードで画像をキャプチャする。
	手動で録画を開始/停止する。
	e-PTZ を有効にする。
	前のページへ。
	次のページへ。
	音声オン/オフ。
	双方向オーディオの開始/停止。



全画面ライブビューモードに切り替えます。

注意: 双方向オーディオ機能を使用する、または録音する前に、リモート設定 > カメラ設定 > ビデオ設定でビデオとオーディオにストリームのタイプを選択してください。

PTZコントロールの操作

始める前に:

1. エンコーダが PTZ 機能をサポートするカメラ/ドームに接続されていることを確認してください。パンチルトユニットまたはスピードドームの R +端子と R-端子をそれぞれ GJ-EN6700 の RS-485 T +端子と RS-485 T-端子に接続します。
2. RS-485 設定インターフェイスで設定されているボーレート、PTZ コントロール、アドレスは、接続されているパン/チルトユニットまたはスピードドームのパラメータと同じでなければなりません。(リモート設定 > シリアルポート設定 > 485 シリアルポート)

PTZコントロールの操作

ライブビューモードでは、PTZ コントロールボタンを使用して、カメラレンズのパン/チルト/ズームコントロールを実現できます。

マウスが相対位置にある場合、表示ウィンドウには 8 つの方向ボタン(上下左右、左上、右上、左下、右下)が表示されます。





方向ボタンをクリックして、パン/チルトの動きを制御します。



ズーム/アイリス/フォーカスボタンをクリックすると、レンズの制御が実現します。

PTZ コントロールボタンの説明については、次の表を参照してください。

ボタン	説明
	ズームイン/ズームアウト
	近く/遠くにフォーカスする

	アイリスオープン/クローズ
	ライターオン/オフ
	ワイパーオン/オフ
	パン/チルト動作の速度を調整する (レベル 1~7 を選択可能)

レコーディング

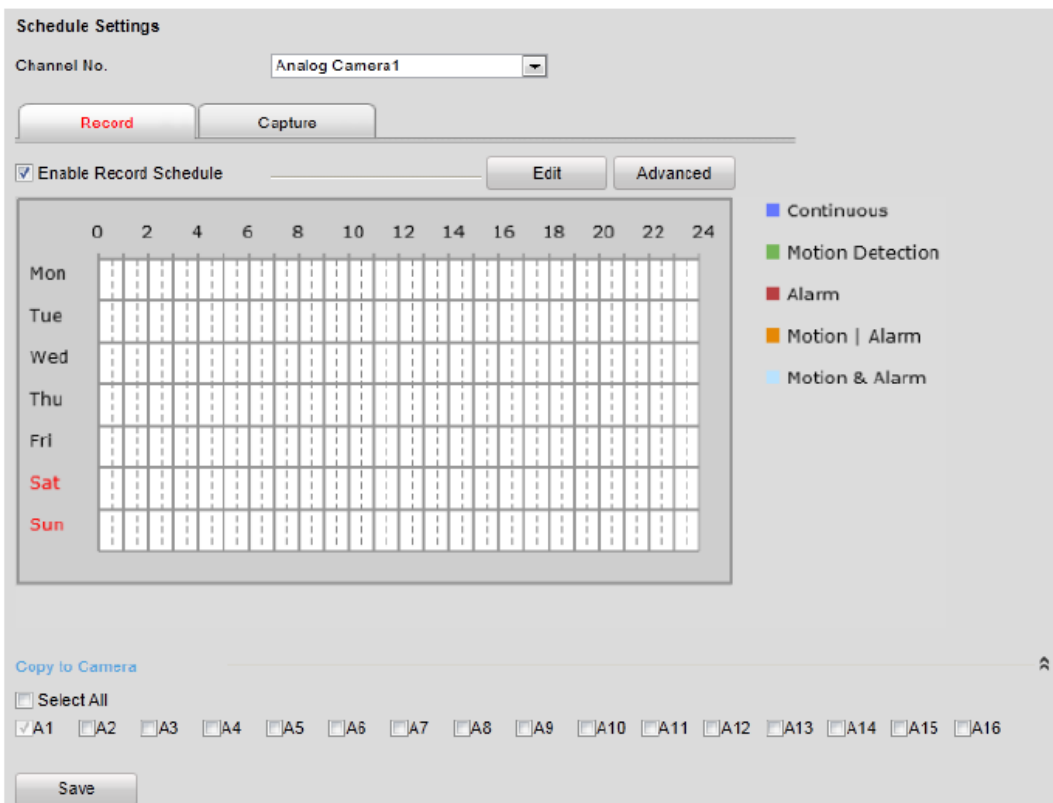
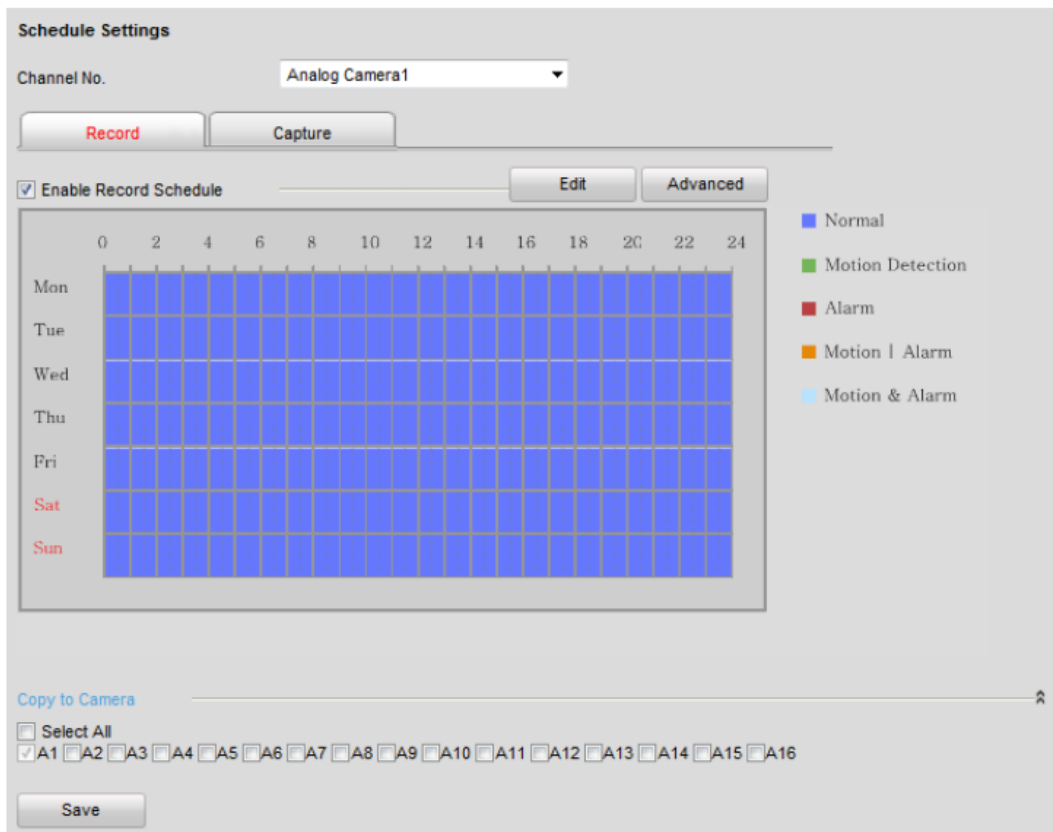
始める前に:

エンコーダが HDD (DS-6700HWI / HFI-SATA の場合) またはネットワークディスクに接続され、HDD またはネットワークディスクが初めて使用されるように初期化されていることを確認してください。

手動録画とスケジュール録画の 2 つの録画タイプを設定できます。次のセクションでは、スケジュールされた録画の設定について説明します。

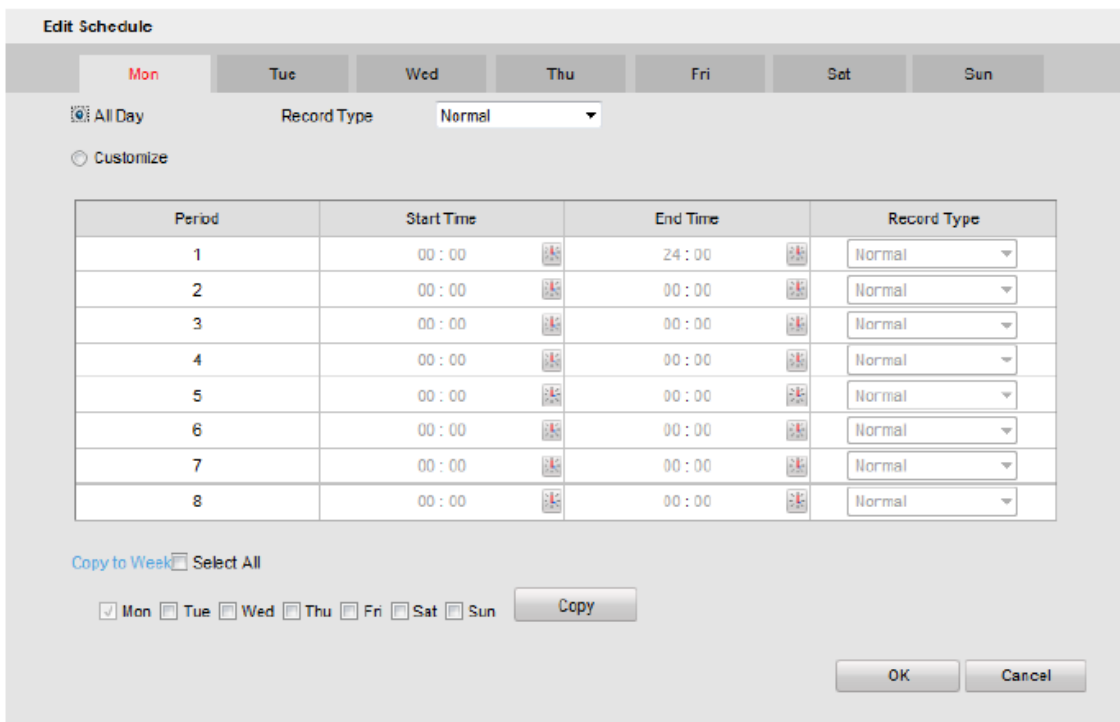
手順:

1. リモート設定 > カメラ設定 > スケジュール設定をクリックして、「録画スケジュール設定」インターフェイスに入ります。
2. カメラを選択して、録画スケジュールを設定します。
3. 「録画スケジュールを有効にする」チェックボックスをオンにして、録画スケジュールを有効にします。



4. **編集**をクリックして、「スケジュール編集」インターフェイスに入ります。

5. 曜日を選択して、スケジュールされた録画を設定します。



Edit Schedule

Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun

All Day Record Type: Normal

Customize

Period	Start Time	End Time	Record Type
1	00:00	24:00	Normal
2	00:00	00:00	Normal
3	00:00	00:00	Normal
4	00:00	00:00	Normal
5	00:00	00:00	Normal
6	00:00	00:00	Normal
7	00:00	00:00	Normal
8	00:00	00:00	Normal

Copy to Week Select All

Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun

- すべての日またはカスタマイズされた期間録画を設定する：
 - 終日録画を設定する場合は、「終日」チェックボックスをオンにします。
 - 別の時間セクションで録画する場合は、「カスタマイズ」チェックボックスをオンにします。各期間の開始時間と終了時間を設定します。
- 注意:** 各期間の時間は重複することはできません。最大 8 つの期間を設定できます。
- レコードタイプを選択します。レコードタイプは、ノーマル、モーション、アラーム、モーション&アラーム、モーション|アラームのいずれかです。
 - 「すべて選択」チェックボックスをオンにして、コピーをクリックすると、この日の設定が 1 週間全体にコピーされます。日付の前にチェックボックスをチェックして、[コピー]をクリックすることもできます。
 - OK をクリックして設定を保存し、「スケジュール編集」インターフェイスを終了します。
6. 「スケジュール設定」インターフェイスで、**詳細設定**をクリックして、高度な録画パラメータを設定できます。
7. **保存**をクリックして、上記の設定を有効にします。

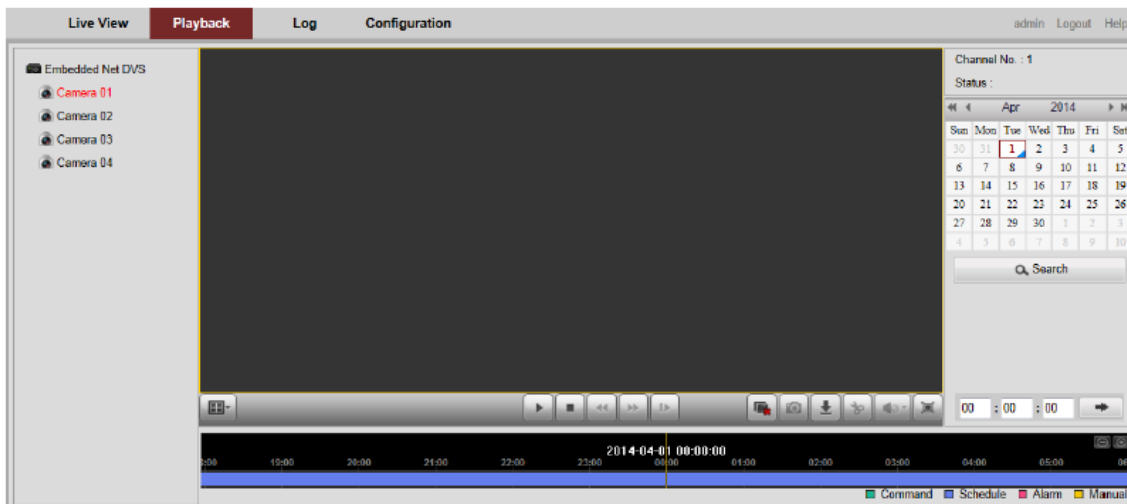
再生

目的:

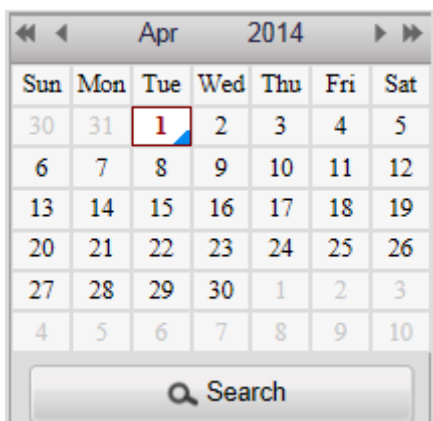
記録されたビデオファイルは、WEB ブラウザによる遠隔再生することができます。


手順:

1. メニューバーの再生をクリックして、再生インターフェイスに入ります。



2. 再生のためにデバイスリストからカメラをクリックします。
3. カレンダーから日付を選択し、検索をクリックします。



4.  ボタンをクリックして、現在の日付に検索されたビデオファイルを再生します。

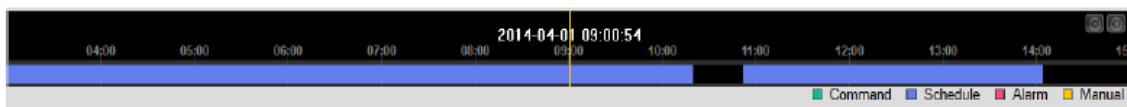
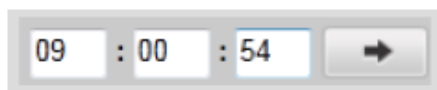


5. ツールバーのボタンを使用して再生モードで操作します。

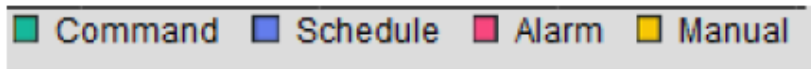


ボタン	説明	ボタン	説明
	ウィンドウ分割モードを選択する		再生/一時停止
	再生を停止する		スローフォワード
	早送り		シングルフレームで再生
	すべてのチャンネルの再生を停止する		再生モードで画像を取り込む
	ビデオファイルをダウンロードする		
	音声オン/オフ		

6. プログレスバーをマウスでドラッグして正確な再生ポイントを見つけるか、または時間を入力して ボタンをクリックして再生ポイントを見つけることができます。



プログレスバーのビデオの色は、さまざまなビデオの種類を表します。



ログ

目的:

デバイスの操作、アラーム、異常、および情報は、いつでも表示およびエクスポートできるログファイルに保存できます。

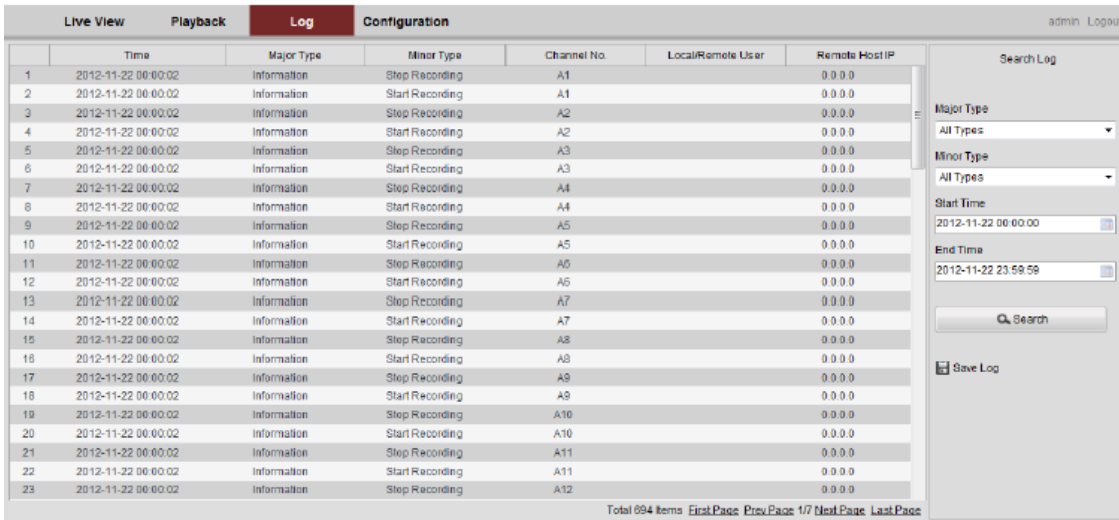
始める前に:

ログ機能は、エンコーダが HDD (GJ-EN6700HWI/HFI-SATA の場合) またはネットワークディスクに接続されている場合にのみ実現できます。

手順:


1. メニューバーの**ログ**をクリックして、「ログ」インターフェイスに入ります。
2. メジャータイプ、マイナータイプ、開始時間、終了時間など、検索を絞り込むためのログ検索条件を設定します。
3. **検索ボタン**をクリックして、ログファイルの検索を開始します。
4. 一致するログファイルが以下のリストに表示されます。

注意: 毎回最大 100 のログファイルを表示できます。



The screenshot shows the 'Log' tab in a web interface. It features a table with columns: Time, Major Type, Minor Type, Channel No., Local/Remote User, and Remote Host IP. The table contains 23 rows of log entries, alternating between 'Information' and 'Step Recording' types across channels A1 to A12. On the right side, there are search filters for Major Type and Minor Type (both set to 'All Types'), Start Time (2012-11-22 00:00:00), and End Time (2012-11-22 23:59:59). A 'Search' button and a 'Save Log' button are also visible.

	Time	Major Type	Minor Type	Channel No.	Local/Remote User	Remote Host IP
1	2012-11-22 00:00:02	Information	Step Recording	A1		0.0.0.0
2	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A1		0.0.0.0
3	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A2		0.0.0.0
4	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A2		0.0.0.0
5	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A3		0.0.0.0
6	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A3		0.0.0.0
7	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A4		0.0.0.0
8	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A4		0.0.0.0
9	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A5		0.0.0.0
10	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A5		0.0.0.0
11	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A6		0.0.0.0
12	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A6		0.0.0.0
13	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A7		0.0.0.0
14	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A7		0.0.0.0
15	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A8		0.0.0.0
16	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A8		0.0.0.0
17	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A9		0.0.0.0
18	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A9		0.0.0.0
19	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A10		0.0.0.0
20	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A10		0.0.0.0
21	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A11		0.0.0.0
22	2012-11-22 00:00:02	Information	Start Recording	A11		0.0.0.0
23	2012-11-22 00:00:02	Information	Stop Recording	A12		0.0.0.0

5.  ボタンをクリックすると、検索したログファイルをローカルディレクトリに保存できます。